

大阪府暴力追放推進センターT専務理事の講話

◎ これは7年前の座学講習会時に取ったメモを清書したものです。古い資料ですが、今でも実情は変わらないのではないかと思います、御紹介します。

- 時期 : 平成22年11月
- 場所 : 大阪市内某ホテル
- 内容

Q: 暴力団と警察官の数はどちらが多いか?

A: 座学講習会参加者22名中暴力団の方が多と思う者(挙手した者)が約半数いた。

警察官の方が多。警察官:暴力団=3:1。大阪のような都市部ではどうか? 大阪も警察官が多い。警察官:暴力団=2:1くらい。

南署の署長をしたが、南署管内では暴力団の数の方が多。警察官は約500名だが、組事務所は約45。なぜか?カネ儲けのネタがあるから。(阪神が優勝して?) 戎橋から飛び込んだときに署長をしていた。留置所に入っている者の数より、警察官の方が少ない。

本当に困るのは、暴力団の仲間のエセ右翼、エセ同和。最近はややこしいNP O法人がいる。相手を困らせて賛助金を取る。囲い屋*もそうだ。裏に暴力団がいる。中には二枚看板、三枚看板のところもある。一人で名刺を20枚くらい持っていて、相手によって使い分ける。最近証券・金融の分野にも手を出している。

*囲い屋:生活困窮者を救済するなど称して住居を斡旋し、生活保護費の一部又は全部を搾取する。

ゴルフ場を経営している人が女性トラブルを起こした。稲川会(関東)に脅されたので、住吉会に抑えてくれるよう頼んだ。カネでケリを付けたが社長には嘘をついた。「喧嘩になり相手を拳銃で殺して山に埋めた」と言い、口止め料として2千万円出してくれと言った。次に両方の組のトップに話が上がった。3億円出してくれと言われ、社長は3億円払った。

警察から見れば、たいした事件ではない。単なる詐欺事件だ。暴力団を使って何かしようとしたら、こういうことになる。

彼らはマインド・コントロールのテクニックに長けている。心理学では「フット・イン・ザ・ドア・テクニック」という。ドアに足を踏み入れて、「奥さん、話はすぐに終わるから」と言ってどんどん進めてくる。

最近、暴力団がよく分かりにくくなってきた。法律によって、暴力団事務所が一見して分かるようにしてはいけないということになった(暴対法)。しかし、いることはいる。

年間 1,500 件の相談を受けるが、暴力団が名刺をくれたのは 2 件しかない。別に脅しのために使ったのではなく、ええかっこしたくて出したもの。

最初に困ったと思わせなければ意味がない。中にはニセ者もいる。暴対法に引っかけられない。

本を無差別に送ってくる。「世界平和人権運動日本支部」。「平和」というのは右翼に多い。「人権」というのは同和に多い。同和を騙って商売する者は多い。本の中に暴力団の名刺が入っていた。「5 万円くらいは買おう」と思わせる。

センターには毎日のように相談がある。そういうものを買う者がいるということ。断ることが大事。「暴追センターに相談した」ということ。

男性用毛染めで揮発性のものがある。「目の中にしぶきが入った。どうしてくれるんだ！」と言われ、病院通院費と慰謝料で合計 100 万円を要求され、相手の言うままに支払ったが、暴力団ではなかった。

暴力団に利する行為をしたら、処罰の対象になる。「なんで謝ったんだ！瑕疵があるから謝ったんだらう？」となる。彼らはカネ儲けのためにやっている。投げられたボールは投げ返さなければならない。

Q：去年、大阪で拳銃発砲事件は何件くらいあったと思うか？

A：学校の先生の会で質問したら、3 千件と言った人がいたが、2 件が正解。ゼロの年もある。自殺を含む数字だ。

「誠意を見せろ」は「カネを出せ」ということ。「誠意とは何ですか？」と聞くと、「お前が考えろ」と言う。答えは分かっている。

どう実行するかが難しい。ドアを開放して話す。相手は警察に通報されるのが怖い。「検討します」と言ってはダメ。名刺の裏に詫びを書いたりしない。お茶やコーヒーを出したらダメ。時間が長くなる。最初から「No！」という姿勢を示す。相手は顔色を見ている。

「私の段階では、ここまでしか話せませんので帰ります」「何言うトンねん！帰らせんぞ！」と言ったら監禁罪が成立する。言わなければ成立しない。

必ず相手の名前を確認すること。名刺を貰う。偽名は警察の資料にある。携帯電話の番号を聞ければいい。車種・ナンバーを控えておく。揚げ足をとられないように慎重に対応すること。

暴追センターや警察に言う勇気が大切だ。

以上